

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		社会福祉法人 萌窓の郷 ライフサポートセンターなごみ園		公表日		2026年 2月 24日	
チェック項目		はい	いいえ	工夫している点		課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	大きな声などで不穏な様子が見られる児童が少ない人数でクールダウンできる部屋を設けられている。	・子どもたちの安全を確保できる動線を確保していきます。 ・随時、道具や場所の改修を行っていききたいと思います。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	ディレクターの方々が適切な人数を決められた人数から配置できていると思います	引き続き突発的な支援が必要な場合でも対応できるように、職員間の連携を取りながらサービスの提供を行います。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	一日の流れ等掲示物で視覚的に情報を伝える工夫ができています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	・感染症予防や誤飲防止につながるよう、清掃方法や環境整備を見直す取り組みも行ってきました。日々の振り返りを大切にしながら、子どもたちがより安心して過ごせる環境づくりを心がけています。 ・トランポリンの下やボールプールの周辺はほごりがたまりやすいので、毎日の清掃で取り除くことを続けていきます。	換気や温度管理にも配慮し、年間を通して心地よい空間を維持していきたいと思えます。また、安全面にも配慮し、子どもたちがスムーズに移動できるように整備していくことを目指します。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	今年度は低学年児童の利用が増えており、遊びの内容や過ごし方にも違いが見られるようになってきました。そのため、子どもたちが安心して遊べる環境を確保できるよう、活動内容に応じたスペースづくりを目的として、部屋の改装を行っています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	担当職員間でのLINEグループのやり取り等で共有事項を伝達できています。そこであがった事項について改善にむけた話し合いを行うこともありました。	継続的な改善に向けた取り組みを進めていきたいと思えます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・前年度の評価を踏まえ、今年度の活動や計画を進めてきました。今後も引き続き、評価を大切にしながら、より良い支援につなげていきたいと考えています。	すべての保護者の意見を十分に反映できているとは限らず、より多くの声を集めるための工夫が求められる場面もあります。今後は、評価表の内容やフィードバックの方法を見直し、より円滑な情報共有と業務改善につなげていくことを目指してまいります。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・適宜、集まって意見交換をしています。 ・終業時のミーティングの機会がこれにあたると思えます。 ・終礼を行い、都度子どもの様子を共有している	必要に応じて運営方針の見直しや業務フローの改善につなげています。さらに、意見を取り入れた改善結果を職員へフィードバックすることで、継続的な業務改善のサイクルを促進しています。今後も、職員が安心して意見を共有できる場を充実させ、より良い職場環境と支援の質向上に努めてまいります。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%	0%	複数の事業所と定期的な会議で情報交換しながら支援の方向性を合わせていることからそう思います。	外部の専門家や関係機関から客観的な視点で評価を受けることで、日々の業務運営や支援の質を見直し、より良いサービスの提供を目指しています。具体的な改善策につなげる仕組みを強化し、継続的な業務改善に努めてまいります。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%		職員の資質向上を図るため、外部研修や法人内研修への参加機会を確保し、学びを日々の支援に活かしていくことを大切にしていきたいです。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%		支援の目的や内容が分かりやすく伝わるよう、支援プログラムを適切に作成し、定期的な見直しを行ってまいります。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	・自己研鑽をそのために図っていきいたい。 ・定期的な会議を行なっているのでそう思います	子どもの成長や変化に応じた支援が提供できるよう努め、支援計画の質を向上させるとともに、保護者との連携を一層強化してまいります。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	児童の気持ちに考慮しながら作成出来ていると思えます	十分な話し合いが難しい場合もあるため、今後は効率的かつ充実した意見交換ができる仕組みを整え、より質の高い支援計画の作成・支援を目指してまいります。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%		職員間の情報共有の方法や頻度にとらわれないよう、さらなる共有の仕組みづくりが求められる場面もあります。今後は、記録の活用やミーティングの充実を図り、よりスムーズに支援計画が浸透し、計画に沿った	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%		継続して、より効果的なアセスメント手法の活用と、職員間での情報共有の強化を図り、子ども一人ひとりに適した支援が提供できるよう取り組んでまいります。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%		計画の具体性や実践の一貫性については、子どもにとってより実効性のある支援が提供できるよう努めてまいります。	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	・子ども達と活動の話し合いを行う中で季節に合った活動を取り入れるようにしている。 ・活動については話し合いの場を設けられています。	子どもの発達状況や興味関心を考慮した活動を検討し、支援の方向性を統一し、活動プログラムの実施後には、振り返りを行い、必要に応じて改善を加えることで、より充実した支援が提供できるよう工夫していきたいと思えます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	・月初めに子どもたちと話し合って活動内容を決めている ・情報収集等で新しいアイデアを検討しています。	今後は、外部研修や他の事業所の取り組みなども参考にしながら、より多様なプログラムを提供できるよう努めてまいります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等サービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	年齢や遊びの興味などに応じた活動、外出を行うことができた。回数はまだ少ない。	今後は、子ども一人ひとりの成長をより細かく支援できるように職員間の連携を強化しながら取り組んでまいります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	・朝礼時に共有を行っています。 ・情報共有や伝え方によっては、意図や状況を十分に伝えきれない場合もあります。そのため、共通理解を大切にしながら、同じ目標を持って支援に取り組めるよう、引き続き工夫していきます。	情報の共有不足が生じないよう日頃から確認と声かけを大切に、職員間で連携した支援に努めていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%		振り返りの時間が十分に確保できない場合があるため、効率的な情報共有の方法を工夫することが求められます。今後も支援の質を高めるために、振り返りの重要性を職員全体で共有し、より充実した支援が提供できるよう努めてまいります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	利用者の変化や特記事項について、より分かりやすく正確に共有できるよう、記録の書き方についても今後さらに学んでいく必要があると感じています	今後も、日々の記録を単なる作業としてではなく、よりよい支援につなげるための重要な情報として活用できるよう、職員全体で取り組んでまいります。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等サービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%		今後も、定期的なモニタリングを通じて、子ども一人ひとりに最適な支援を提供できるよう、放課後等サービス計画の適切な見直しと質の向上に努めてまいります。
	24	放課後等サービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	100%	0%		「4つの基本活動」を適切に組み合わせながら、子どもたちが楽しく充実した時間を過ごし、自立に向けた力を育めるよう支援を行ってまいります。
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%		今後も、子どもたちが主体的に行動できる環境づくりに努め、自己決定の力を育てるための支援の充実を図ってまいります。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%		今後も子どもの成長や課題について正確な情報共有を行い、より良い支援につなげることを目的に努めてまいります。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%		関係機関との連携をさらに強化し、より包括的な支援体制の充実を図ります。特に、情報共有の円滑化や定期的な連携会議の実施を進め、子どもたちが安心して成長できる環境づくりに努めてまいります。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%		今後も、学校との連携をさらに強化し、定期的な情報交換の機会を増やすことで、より効果的な支援体制を構築してまいります。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%	0%		就学前に利用していた保育所・幼稚園・認定こども園・児童発達支援事業所等との情報共有を重視し、就学後も一貫した支援を提供し、子どもたちが安心して成長できる環境づくりに推進してまいります。
	30	学校を卒業し、放課後等サービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%	0%		卒業後の支援が途切れることのないよう、保護者や関係機関との連携を強化し、こどもたちが安心して新たな環境へ移行できる体制を整えてまいります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	100%	0%		今後も、児童発達支援センターとの連携を強化し、専門的な助言や研修を活用することで、支援の質の向上と職員の専門性向上を図ってまいります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	100%	0%	全員の参加とはいきませんが、地域交流活動日には、参加を希望されるお子さんと一緒に、マルシェやお祭りなどの外出活動を行っています。ただし、平日に開催される地域行事は少ない状況です。	今後も、地域との連携を深め、こどもたちが多様な人と関わりながら安心して楽しく過ごせる環境を整えてまいります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100%	0%		地域の支援機関とのネットワークを強化し、こどもたちや保護者が安心して生活できる環境づくりに貢献してまいります。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%		保護者との密な連携を継続し、こどもの成長を支えるための環境づくりに努めてまいります。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	60%	40%	情報提供が少なく、十分に認知されていない現状があります。そのため、今後は情報の発信方法や提供のあり方について検討していきます。	家族がこどもの成長を支えるための知識やスキルを身につけられるよう、より充実した支援プログラムを提供し、保護者や家族との連携を深めながら、こどもたちが安心して成長できる環境づくりに努めてまいります。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%		今後も、利用者や保護者の方が不安なくサービスを利用できるよう、わかりやすい説明を心がけ、丁寧な対応を継続してまいります。また、質問や不明点に随時対応できるよう努めてまいります。
	37	放課後等サービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%		今後も、こどもたち保護者の声を大切にしながら、支援を提供してまいります。こどもが安心して成長できる環境づくりに進めるとともに、保護者との連携を強化し、より良い支援の実現に努めていきます。

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%		保護者との十分なコミュニケーションを図りながら、支援計画を適切に説明し、同意を得るプロセスを大切にしています。また、こどもの成長や状況の変化に応じて計画を柔軟に見直し、保護者と連携しながら最適な支援を提供できるよう努めてまいります。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%		今後も、保護者が安心して子育てができるよう、相談対応の充実を図り、継続的に支援を行ってまいります。また、保護者向けの研修や情報提供を積極的にを行い、家庭と事業所が協力しながらこどもの成長を支えられる環境を整えていきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	ただし、回数は少ない。	保護者の声を取り入れながら、より充実した交流の場を提供できるよう努めてまいります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%		こどもや保護者が安心して意見を伝えられる環境づくりに努めるとともに、苦情対応のプロセスを見直しながら、より適切な支援が提供できるよう改善を図ってまいります。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%		保護者やこどもが必要な情報を適切に受け取れるよう、より分かりやすく、タイムリーな情報発信を行ってまいります。また、保護者の意見を取り入れながら、情報発信の方法を随時見直し、充実したコミュニケーションを図ってまいります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%		個人情報保護の意識を高め、管理体制の見直しや研修の実施を継続しながら、より安全な情報管理を徹底してまいります。また、保護者の皆様にも個人情報の取り扱いに関する方針を明確にお伝えし、信頼される事業所運営を目指します。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%		支援方法の見直しや職員研修を継続的に実施してまいります。また、保護者からの意見を取り入れながら、より良いコミュニケーションの方法を模索してまいります。
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100%	0%		こどもたちが地域社会の一員として成長できる環境を整えていきます。また、地域住民の意見や要望を取り入れながら、より開かれた事業運営を目指してまいります。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%		今後も、こどもたちの安全確保のために、最新の知見を取り入れながらマニュアルの見直しを行い、職員や保護者と連携しながら安全対策を強化してまいります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%		BCPの定期的な見直しと訓練の実施を継続し、非常時においても安全かつ円滑に業務を遂行できる体制を強化してまいります。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%		日々の体調チェックを行い、異変が見られた場合は速やかに保護者へ連絡し、適切な対応を取るよう掛けています。今後も、子どもたちの健康管理を徹底し、安全で安心できる環境を提供してまいります。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%		今後も、安全で安心できる環境を提供し、子ども一人ひとりに寄り添った支援を行ってまいります。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%		今後も安全管理を最優先に考え、子どもたちが安心して活動できる環境を維持してまいります。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%		家族との連携を深め、子どもたちが安全に安心して過ごせる環境づくりに取り組んでまいります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%		今後も、ヒヤリハットの共有と再発防止策の取り組みを継続し、子どもたちが安全で安心して過ごせる環境の維持と向上に努めてまいります。
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%		今後も、虐待防止に向けた取り組みを継続し、すべての子どもたちが安心して過ごせる環境づくりに努めてまいります。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%		子どもたちの尊厳と安全を守るため、適切な支援体制の構築を継続してまいります。	